

第2回教育委員会臨時会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		第2回教育委員会臨時会議事要録
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和6年2月28日 午前10時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	金子 智雄（教育長）、 樋口 郁代（教育長職務代理者）、酒井 朗、村瀬 愛、大澤 誠
	その他	教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、指導課長、教育センター所長、学校施設担当係長2名
	事務局	庶務課庶務グループ係長、庶務課庶務グループ係員
公開の可否		公開 傍聴人 1人
非公開・一部公開 の場合は、その理由		
会議次第	第1号議案	学校運営協議会規則の一部を改正する規則 （教育施策推進担当課長）
	第2号議案	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する 条例施行規則の一部を改正する規則（指導課）
	第3号議案	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を 改正する規則（指導課）
	協議事項第1号	南池袋小学校付近の旅館業営業許可申請について （学校施設課）
	協議事項第2号	令和6年度幼稚園入園式、小・中学校入学式祝辞に ついて（指導課）
	報告事項第1号	中学生の放課後支援について（放課後対策課）
	報告事項第2号	千川中学校複合施設における開校（開設）時期の 変更について（学校施設課）
	報告事項第3号	南池袋小学校の別棟整備について（学校施設課）
	報告事項第4号	朋友小学校の別棟整備（新管理棟内別棟）に ついて（学校施設課）
	報告事項第5号	未来としまミーティングの実施報告について （教育施策推進担当課長）

休憩時間：00：00

終了時間：11：50

第2回教育委員会臨時会議事要録

開催日 令和6年2月28日

開催場所 教育委員会室

事務局)

皆様、おそろいでございます。

本日傍聴の方、1名いらっしゃいます。

金子教育長)

おはようございます。

それでは、第2回教育委員会臨時会を開始したいと思います。

初めに、署名委員のお願いを申し上げます。大澤委員、樋口委員、宜しく願いいたします。

本日は非公開による審議の案件はございません。

傍聴1名ということでございます。宜しいでしょうか。

(委員全員了承)

金子教育長)

ではお入りください。

<傍聴人入場>

金子教育長)

本日、この後の報告事項の中で、学校建設の関係、改修の関係が幾つかあります。担当は宇野課長ですが、総務委員会の2日目が開かれていまして、そちらに委員として出なければいけないものですから、上住係長、深井係長が代理出席されているということなので、宜しくお願いします。

それでは、早速議事に入っていきたいと思います。

(1) 第1号議案 学校運営協議会規則の一部を改正する規則

金子教育長)

第1号議案、学校運営協議会規則の一部を改正する規則につきまして、ご説明をお願いします。

教育施策推進担当課長。

<教育施策推進担当課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。本議案に関しまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いをいた

します。

私から一つ。これがこの4月1日と、次の4月1日からということで、6年度中に、次の指定のため、準備をしていこうという計画になっている、あるいは学校と話し合っているのはどことどこというのはありますか。

教育施策推進担当課長。

教育施策推進担当課長)

令和6年度は、千川中、池一小、千早小、西巢鴨中、富士見台小の5校です。5校が令和6年度の導入の準備をしております、令和7年4月には、こちらに記載のある八つの学校と5校が加わって、13の学校が令和7年4月1日、コミュニティスクールを導入する予定となっております。

金子教育長)

分かりました。

ご質問、ご意見宜しいですか。

それでは、特にないということですのでこの議案につきましては可決をしていきたいと思えます。

宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 第1号議案了承)

(2) 第2号議案 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則

(3) 第3号議案 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

金子教育長)

続きまして、第2号議案と第3号議案は一緒にいいですか。2件まとめて、第2号議案は幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則。それからもう一つは幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則ということであります。ご説明お願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

二つにいたしました、内容的には、それぞれ個別の内容です。宜しいですか。

高齢者部分休業について、詳しい内容が書いてありませんが……。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

今教育長がおっしゃった、高齢者の部分を読みますと、1日につき2時間からの休業になりますか。それはまた別ですか。この内容を教えていただきたいという事と、それが要するに幼稚園の運営上、大丈夫なのかということが一番心配だと思います。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

まず、内容ですが、高齢期において勤務形態の選択肢を広げるということで、仕事と生活の両立を支援する観点から導入された部分休業です。1日の勤務の初め、もしくは終わりに2時間を超えない範囲で取得出来ということです。幼稚園においては、初めに取るとなると、なかなか厳しいですが、後ということにしますと、登園後になりますので、現実的だと思います。

金子教育長)

年齢は、先程もご説明があったように60才以上というところです。

現実にはいません。

酒井委員)

分かりました。

金子教育長)

いずれあり得る話です。

他にご質問、ご意見ございましたら。

勤勉手当の方は先程の話だと、11月に1回したところ、その結論ということです。

酒井委員)

はい。

金子教育長)

宜しいですか。

それでは、第2号、第3号につきまして、それぞれ了解するという事で宜しければ、そのように決したいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 第2号議案了承)

(委員全員異議なし 第3号議案了承)

(4) 協議事項第1号 南池袋小学校付近の旅館業営業許可申請について

金子教育長)

続きまして、協議事項の第1号へ参ります。南池袋小学校付近の旅館業営業許可申請につきまして、ご説明をお願いします。

学校施設担当係長。

<学校施設担当係長 資料説明>

金子教育長)

説明が終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

宜しければ、この回答文案で回答してまいりたいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第1号了承)

(5) 協議事項第2号 令和6年度幼稚園入園式、小・中学校入学式祝辞について

金子教育長)

続きまして、協議事項の第2号、令和6年度の幼稚園入園式、小・中学校入学式の祝辞につきまして、協議いただきたいと思います。お願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

一つずつ協議しますか。どうでしょう。まず、幼稚園についてです。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

私が見間違えたのかもしれませんが、4行目に「感激もひとしお」と書いてあるところは、「感慨もひとしお」ではないかと思います。

指導課長)

すみません。

金子教育長)

去年もこれだったということはないですか。

指導課長)

今年、直しているのかもしれませんが。

金子教育長)

よかった。びっくりしました。

指導課長)

誤植です。すみません。

金子教育長)

「感慨もひとしお」であればいいですか。

酒井委員)

はい。

指導課長)

はい。

金子教育長)

宜しいですか、

他にございますか。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

「豊島区ではひとが主役」というのは、何かコンセプトを打ち出していて、この「ひとが主役」という言葉を使っているのでしょうか。そこを知りたいです。

というのは、今、世界、地球上、人が主役というか、人中心でやっているのです。幼稚園の子や保護者が「ひとが主役」と聞いて、ぴんと来ないと思います。例えば「一人ひとり

が主役」と言われたら「一人ひとりを大事にして主役にしようとしているんだな」と分かります。何かコンセプトでこのような言葉がどこかにあった気がします。それを持っているのではないかと思いますが、豊島区では一人ひとりが主役となる、何かという方が保護者に伝わりやすいと思いますが、どうしてもこの言葉を使いたい理由があるのか教えていただきたいです。

金子教育長)

いかがでしょう。

どうぞ、指導課長。

指導課長)

区長の言葉からそのまま引用したので分かりにくいようであれば、教育委員会として、「一人ひとり」ということは可能であると思います。

金子教育長)

いろいろな場面でいろいろなレベルで言っている中の抜いてきた部分があるのだと思いますが、子育てや教育に関しては、やはり一人ひとり、例えば、言い古されていますが、「誰一人取り残すことなく」という言い方は、区長は別の場面で使っています。あえて、区長用語の引用にこだわるのか。そうではなく、村瀬委員もおっしゃったように、一人ひとりでいいのではないか。平易な言葉で語るというのも、選択は出来ると思います。

ここはご検討いただきましょうか。

取りあえず、ご指摘をいただきたいと思います。

他にございますか。宜しいでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

もしそうであるならば、今のところ一重の鍵括弧を外してください。

金子教育長)

そうなりますね。

樋口委員)

ただし、次に一人ひとりが重なるので、「一人ひとりが主役となるとしまの未来の実現を目指し、子供たち一人ひとりの可能性を伸ばす」というようにすれば、聞いていても素直に入ると思います。

金子教育長)

宜しいと思います。私の意見としては、特に読み上げるときに、区長の場合もあります。だからといって両名で出ていますから、必ずしも使っているスローガンの的なものでもなくても大丈夫だとは思いますが。今の部分はいいと思います。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

「子供たち一人ひとり」の「一人ひとり」は要らないと思います。「子供たちの可能性」とすれば、もっと音的にはきれいです。

金子教育長)

「子供たちの可能性」

樋口委員)

はい。

金子教育長)

今いただいたご意見を基にして、また検討して修文した内容を一旦、電子データで送るということによろしいでしょうか。

続いて、小学校もございますのでお願いします。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

読み上げていただきました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

先程のところは一緒ですか。

私から質問していいですか。去年も「魔法の言葉のプレゼント」でしたか。分かりますか。

指導課長。

指導課長)

去年は、違います。

金子教育長)

違いますか。

指導課長)

去年は紙で渡しているので、読み上げるということでこのような形に変えました。

金子教育長)

読み上げではありませんでした。

では、かなり変わっているという認識でいいですね。

指導課長)

はい。

金子教育長)

宜しいですか。私から1点。中学の方を先に見ましたが、「地域の皆様、関係者の皆様」と丁寧に書いているので、こちらもそろえた方がいいですね。「地域や関係者の皆様」というと読み上げる形もあるので、「や」で繋がらない方がいいと思います。

指導課長。

指導課長)

私も幼稚園のところと比べて、読むときに少し足しました。それと同じように、幼稚園のところも最初の「ご入園」、ここのところは「ご入学」になっていますので、ご入園、

ご入学はそろえていきたいと思います。

金子教育長)

いいですか。地域の皆様、関係者の皆様というように開いていただきます。

指導課長)

はい。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

挨拶も大事ですが、私は返事も大事だと思っています。「元気な挨拶と返事」というのはどうでしょうか。

その前に戻って、「進んでみんなとお話しして、友だちと仲良くなって」というのは少し薄いのではないかと思うので、勉強を頑張るとか、運動するとか、何かその辺がほしいと思っていますところ。

ごめんなさい。今すぐ代案が出ません。それに伴って、1、2、3段落目に元気な挨拶と返事は、もしするならば、最後、「立派な挨拶」、「立派な」はどうでしょう。ここも「挨拶や返事」と入れたらどうかということと、その少し前に、「楽しい学校生活を送れるはずですよ」という、限定しないような、「送れることですよ」という感じの方が柔らかいだろうと思っています。

先程も少し引っかかっていましたが、最後の「小学校生活を送られるよう」、「送られる」という表現は、やはり「送ることが出来るよう」でしょうね。

「小学校生活が楽しみだな」という言葉を少し入れたいと思っていますところ。

金子教育長)

いいですね。今のところは、ご意見を反映してください。

他にございますか。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

私も樋口委員の言われたこと、運動とか勉強、出来れば給食とか、始まるのが楽しみであらう言葉を入れられるのであれば、入れてほしいと思います。

金子教育長)

「初勉強、初運動、初給食が待っているよ」と。

村瀬委員)

はい。

どこの学校も、上級生が1年生のケアをするようになっています。

金子教育長)

そうですね。

村瀬委員)

友達というよりは、上級生のお兄さん、お姉さんをどこかに登場させたいと思っています。

金子教育長)

では、それも踏まえてください。

ここでも、先程の「ひとが主役」のフレーズは使っていますが、同様のご意見ということで宜しいですか。それともこちらはいいですか。

もう一回考えてもらいますか。考えてほしいということでいいですか。

村瀬委員)

聞いていて、分かりやすくしてほしいです。

金子教育長)

なるほど。

聞いた人が、分かりやすい。

村瀬委員)

さらっと聞いて、子供でも分かるような、すっと入ってくるものがいいです。

はてなが、湧かないような感じでお願いしたいです。

金子教育長)

そこまでとは言いませんが、保護者も聞いていて分かるのかなということがありますね。

酒井委員)

そうですね。

金子教育長)

ということで、検討をいたしましょう。

続きまして、中学もございますのでお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

若干、変えつつ読んでいただきました。いかがでしょうか。

村瀬委員)

いいですか。

金子教育長)

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

豊島区の小学校は、教科担任というか、教科の先生の教える授業がありますし、子供たちが作り上げている授業、行事もかなり多いです。

酒井委員)

そうですね。

村瀬委員)

ですので、部活はありませんが、委員などはしっかりやっているので、小学校の生活から大きな変化を感じるというよりは、さらにステップアップさせるような感じでしょうか。適切な言葉が見つかりませんが、「大きい変化」ではないです。

金子教育長)

ゼロから1ではないということですね。

村瀬委員)

ゼロから1では、ないです。「そんなのやってたよ」という感じになりそうなので、さらにアップしてという感じに言葉が変えられるといいと思いました。

もう一つ、その後に。

金子教育長)

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

「その変化は皆さんが」という感じになるので、この新しくいろいろなことが始まるということが、この変化が成長の証というように言い切るのは、どうなのかと思います。国語力がないので、あとは皆さんにお任せします。

金子教育長)

部活動が始まるのが成長の証ではないですね。

酒井委員)

そうですね。

村瀬委員)

少し違うのではないかと思います。

金子教育長)

何となく言いたいことは分かりますが、少し変えた方がいいですね。

酒井委員)

そうですね。

金子教育長)

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

村瀬委員と同じところを私も、思っていました。

金子教育長)

そうですか。

酒井委員)

今は、小学校でもやっていることの延長上にあるので、子供たちは、あまりここの違いが大きな変化に感じないと、思うのが1点です。

それから、一番下の、下から2段落目で、「豊島区は」のところですか。「ひとが主役」のところの文言は変わるのとは分かりますが、その後、中学校では、「一人ひとりに寄り添

った教育を展開し」という流れです。小学校は、「一人ひとりの可能性を伸ばす教育を展開し」となっていて、結果、どちらかに統一した方がいいと思います。

小学校と中学校で、少しずつ文言が違いますので、そろえられるところはそろえた方がいいと思います。

金子教育長)

小学校と中学校をそろえた方がいいというご意見ですね。

酒井委員)

はい。

金子教育長)

分かりました。

他にございますか。

どうぞ、指導課長。

指導課長)

幼稚園を見ますと、幼稚園も可能性になっていますので、可能性を入れたいと思います。

酒井委員)

それでもいいかもしれません。

金子教育長)

大丈夫ですか。

指導課長)

統一します。

金子教育長)

「可能性を伸ばす」でいいですか。

他にいかがでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

先程、皆様からご指摘の段落については、私も同意見です。それから、その下の段落のところ、今課長は「自分の」とおっしゃっていましたが、私も耳で聞いていて「自身の力」というよりは、「自分の」の方が宜しいと思いました。

それから、その2行下の例の「みんなでつくとしま」の云々ですが、「合言葉」というと、本当にそれが言われているというように聞こえてしまいます。

金子教育長)

私もそれが引っかかっていました。

酒井委員)

そうですね。

樋口委員)

前の二つを見ると、「実現を目指し」になっています。

金子教育長)

「合言葉」は書いてないです。

樋口委員)

その方が、柔らかいと思います。

それから、「一人ひとりに寄り添った」のところも同意見です。多少、発達段階に応じて違うのは、それは構わないと思っています。「教育」は、「学校教育」の方がいいと思います。「教育」というととても広いのですが、豊島区と言っているからなのかといろいろここで悩んでいるところではあります。

「展開し」というのは、おそらく学校の言葉だから一般向けには「進め」などというようにすると、宜しいと思いました。

2行目と3行目の「豊島区及び豊島区教育委員会を代表して」のところは要らないと思います。

金子教育長)

小学校は入ってないです。

樋口委員)

もう紹介されているわけですし。

酒井委員)

そうですね。

金子教育長)

事務局の方で、逆にここを確認したいということが何かあれば、大丈夫ですか。

どうぞ、指導課長。

指導課長)

今、一生懸命メモを取らせていただいたり、また並べてみたり、もう一回読み上げると同じ言葉を繰り返されたというのは、私たちも気づきますので、ご意見ありがとうございました。すぐに送らせていただきます。

金子教育長)

いただいたご意見で修文をさせていただき、また次回したいと思います。宜しくお願いいたします。

では、今回の協議はここまでということにしまして、また引き続き、決定に至るまで協議をしたいと考えます。

ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第2号了承)

(6) 報告事項第1号 中学生の放課後支援について

金子教育長)

それでは、協議事項終わりました、報告事項に参ります。報告の第1号、中学生の放課後支援につきまして、ご報告をお願いいたします。

放課後対策課長。

＜放課後対策課長 資料説明＞

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

宜しいでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

大変中身の濃いご報告であらうと思います。それぞれが大変重要なことであり、これから、中学生をはじめとする子供たちの放課後にどのように関わって広げていくかということでご苦労なさっていると感じているところです。

何点が質問させてください。まず1点目の部活動改革推進についてです。指導者は委託業者や区内の大学ということで、今回はどこであるのかとてもよく分かります。これは内容を、いわゆる協議会が決めて、それに応じたところの業者とか大学をピックアップするようなやり方なのかどうかというところです。

それから、同じく、もう一点、1についてですが、この3月に推進計画の予定を策定なさることなので、おそらくお聞きする機会がないかもしれませんが、それを、また教育委員会に報告なさるようなスケジュールでしょうか。

まず、1についてお願いします。

金子教育長)

今、二つご質問ありました。

では一旦、1についてお願いします。

どうぞ、放課後対策課長。

放課後対策課長)

おっしゃる通り、我々の方で案をつくって、協議会に意見を聞いて、それで進めました。業者については我々が仕様書を作って、こちらは基本的には入札で決めました。

ダンスとドローン仕様書を作り、業者を選定しました。音楽部については、東京音大と楽器等の指導もやりたいというところからはじまって、協議をしながら、ここについては詰めていき、合唱になりました。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

いたしますと、毎年変わるというような感じなのでしょうか。もう一つありました。1の柱です。

部活動についてですが、今回のこのような形は「地域移行の方の例ですよ」というお話でした。今後、地域連携の方もご検討なさるといように、今のお話をお聞きしたところですが、この地域連携の方は、1校ずつのことをお考えなのか、それともその中に合同部

活動的なことも含められながらのお考えなのか。現時点での方向性があれば教えてください。

金子教育長)

放課後対策課長。

放課後対策課長)

土曜部活、どの部活を来年度やっていくかというのは、今後詰めなければいけなくて、この三つをそのまま持つていくこともオーケーです。例えばダンスは続けたいと思っても、民間委託をしていますので、その業者のままでいくというのは難しい面もあります。協議をしたいと思います。

継続するといいい面と悪い面があるので、検討を省略してこの業者がそのままいくということではないです。

繰り返しになりますが、この三つがそのままいくということでもないので、逆に言うとこれ以外に他の部活も出来るかもしれません。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

地域連携の方は、いかがですか。

金子教育長)

放課後対策課長。

放課後対策課長)

地域連携については、来年度予算を頂戴して、外部指導者、コーチの予算だけではなく、顧問業を、委託できないかということで、モデル校を選定してやりたいと思っていましたが、予算がつかないということで、それは出来ませんが、先程申し上げた外部指導員は、新拡で一部拡充は出来たので、それをやりながら、コーディネーターと相談しながら令和7年度に向けて、どのようにしていけば顧問業務を引き受けられるかということを検討のフェーズから始めていきます。

先程、おっしゃっていた合同部活ですが、この部活は合同部活でやった方がいいというものがあれば、検討したいと思っています。

合同部活の実現は難しいというお話ですが、併せて考えていきたいです。

金子教育長)

あと、推進計画です。

放課後対策課長。

放課後対策課長)

推進計画につきましては、タイミングを見て、教育委員会の方にご報告したいと思います。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

コミュニティスクールの役目の一つに、このような部活動の地域連携などを入れると思います。何でも教育委員会事務局がリーダーシップを取るのではなくて、そのようにしている学校もたくさんありますので、是非その辺のところも参考までに聞いていただければと思いました。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

ご説明ありがとうございました。このような形でまとめてくださって非常によく状況が分かりました。

一つ、学習支援についてですが、今現在、6月から区内3か所で土曜日に開催ということで、それぞれのところ、平均すると大体3・4人ほどの参加者ですが、もう少し増えないかと思っています。何かアナウンスの工夫など、出来ないでしょうか。

金子教育長)

学校を増やすという話もあるでしょうし、他でもやっていると話もしました。

酒井委員)

そういうことですか。すみません。事情がよく分かりません。

金子教育長)

どうぞ、放課後対策課長。

放課後対策課長)

学習支援については、NPOの団体など、としまこども学習支援ネットワークもやっているということで、もしかするといろいろなところでやっていますので、いろいろな場所でということは、1か所あたりは数名ずつでもあるかもしれません。私たちも他の学習支援等と協働していくのがいいのかもしれませんが、おっしゃっていただいたように、参加者を増やすための工夫については、今具体的に思い浮かびませんが、我々が主体的にやった方がいいというのであれば検討させていただきます。

金子教育長)

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

そうしますと、いろいろなところで学習支援をされている中に、この3か所もあるということで、全体的にはもう少し大きな活動としてあるということですね。

金子教育長)

それは間違いありません。数字的にどうかというのが……。

酒井委員)

その全体が分かると、区としての取組の全体が分かります。

金子教育長)

ただ、全体を足しても、圧倒的多数ですかというのと、そうでもないかなと私は認識しています。以前の担当のときに知っていますが。

酒井委員)

そうですか。

金子教育長)

小中を合わせてやっているような会合もあったり、中学だけとか、NPOだったり、ボランティアだったり、大学だったりいろいろなものですから様々な思考目的でやっているという感じでしょうか。

酒井委員)

分かりました。全体をつかみたかったものですから。

金子教育長)

そうですね。全体がつかめるような、資料をお作りしたいと思います。

酒井委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

とても分かりやすくまとめてくださって、感謝しています。先程言っていました、この3本柱1の部活動のことですが、今、土曜日にやっている三つのうちの二つ、ダンスとプログラミングは入札で決めたと、おっしゃっていましたが。

金子教育長)

契約を入札でと言いました。

村瀬委員)

入札ということは、いろいろな会社からこの会社を選んだということですか。その辺、いかがでしょう。

金子教育長)

どうぞ、放課後対策課長。

放課後対策課長)

厳密に申し上げますと、ダンス部は完全に入札で、プログラミング部は見積り合わせをしました。入札の方は指名競争入札なので、出来そうなところ、何とかクラブという、いろいろなダンススタジオに行って、出来そうな近隣のところにお声がけをしてというやり方です。

見積り合わせは、なかなかドローンを部活でということが難しかったので、ドローンをやっていそうな業者のうち、何か所かに「部活のような感じでやりたいのですが、お見積

りいただけませんか」とお声がけしました。実は出来るところは、ここしかありませんでした。他のところには、「ドローンは教えられるけど、部活みたいな形は無理です」と言われました。

金子教育長)

村瀬委員。

村瀬委員)

豊島区というか東京にはいろいろな会社があるので、例えば、プログラミングを教えられる会社もあると思いますが。

金子教育長)

山ほどありますね。

今はやりなので、私もいっぱい名刺持っています。

村瀬委員)

会社によっては、会社の中でボランティア時間を設けていて、そのボランティア時間を会社からお金をもらいながら、地域に貢献出来るというところもあります。例えば、高南小学校にも何回か来ていただいたプログラミングの会社は、タブレットも会社持ちで郵送してくださって、10人ぐらいのプログラマーの人たちが一人ひとりに教えてくださいました。学校から戻すのも、会社持ちでタブレットを戻してくださいました。また、スポーツで入社してリタイアしてしまった方が、モチベーションがほしいから部活などやらせてもらいたいという会社もあります。出来るところはもっと沢山あるので、あちこち門戸を広げていただくといいと思います。いつの間にか入札が全部終わってしまうのではなく、ホームページなどで分かりやすい形で、募集をかけたらどんどんいろいろな声を吸い上げられるのではないかと思います。

金子教育長)

何かありますか。

放課後対策課長。

放課後対策課長)

プログラミングに関して、今回はドローンということでこちらが絞ってしまったので、出来る会社も多くなかったということがありました。

おっしゃっていただいたように、いろいろな事業者がいらっしゃいます。チームとしまといういろいろな企業が集まる会合がありまして、私、その1回目でプレゼンをして、「土曜部活やります」と言いました。そこでもダンスをしているチームがありましたが、その人たちは入札参加資格がなく、入札参加出来なかったなど、いろいろありました。おっしゃるように、企業の中で時間を有効に活用していくというのもあります。来年度も当然、継続されますので、話を伺いながら、様々なやり方で、どのようにすればお願い出来るかというところで、形に縛られず、検討していきたいと思います。

金子教育長)

ありがとうございます。

村瀬委員)

もう一ついいですか。

金子教育長)

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

2番目の学習支援ですが、ここに限らずいろいろあるということで把握されているのかいないのか分かりませんが、近くの高田地区でも、目白地域の境界のところで一生懸命ボランティアの方が教えている場合もありますし、個人の塾のように無料で教えているところもあります。小さいところがたくさんあると思うので、そのような情報を全部網羅するのは難しいのかもしれませんが、把握することは大事だと思っています。

高田地域の山吹の里の1階のカフェを利用して、近所の子供たちの学習支援をしているのは大学生で、子供たちの宿題はもちろん宿題以外も教えてください。教えてもらえて、ご飯も食べさせてもらえるというので、小学生の居場所にはなっているように見えます。

金子教育長)

教育部長。

教育部長)

先程酒井委員からもご質問いただきましたが、区内でこのように無料で学習を行っているところは、社会福祉、区民社会福祉協議会の方で、とこネットという団体を一つ、ネットワーク化をしています。

直近のデータかどうかは不確かですが、今ネットで上がっている情報では13団体が登録ということでございまして、NPO法人です。また、今お話がありましたように、そのような協会の中のボランティア的なところもあります。

一方で、ジャンプでもやっています。区も含めて、大学も、学生のボランティアも含めての13団体ということで、区内17か所で展開しているところでございます。

ただ、見てみると、月1回だけというところもあったり、多いところは週2回やったり、小中学生のところもあったり、高校生を対象にしているところもあったりということで、かなりいろいろバリエーションがあるようですので、さらに、私どもとしても、把握に努めて、その上で、区で行っているこのような学習支援の強みとか特徴みたいなところをもっときちんと研究していかなければいけないと思っていますので、またご報告させていただきたいと思います。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

村瀬委員)

はい。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

ここからは私の意見ですが、地域連携と地域移行という言葉の使い方がもしかしたらイメージが違うのではないかということはよく分かりました。私は現在の学校がやっている部活動の主な部分を地域の方が運営するのが、いわゆる今回の国が進めているものですので、豊島区が今回進めているような形のものを地域移行というのかどうかは、いま一つよく分かりません。「そのように定義した」というのであれば、それはそれですが。

つまり何をこだわっているのかというと、大人が「こういうのはどうですか」といって、「それをやりたい」と手を挙げた人がやるというのを、部活動というのだろうかと思ってしまいます。

もし本当にそのようにするのであれば、今こういうことで困っているいから、教育委員会として、何のためにこの協議会というものをつくったのかということもあります。そこで学校のニーズを踏まえてというのであれば、まだ分かりませんが。

国の方もトーンダウンをしたがゆえに、この辺の曖昧さが人によって受け取り方が違うというのを感じています。私の個人的な感覚から言えば、部活動は、やはり学校が関わらなければ、教育的な効果は薄いと思います。それは連携のレベルではないというのが国の方針の出発点だったと思います。

申し訳ないですが、豊島区は外部指導員が少な過ぎます。本来は、たくさんいるはずなので、出来ていなければいけないので、そこのところからまずやっていくのだという意図は分かります。かなり学校の働き方改革から出ているとよく言われますが、それだけではない部分もたくさんあるかと思うので、少し研究をしていく必要性は感じます。

それから、もう一点は、3番目の居場所づくりのにしまる一むについてでございます。

一部の方の人数は、おそらくこのぐらいだろうと思うのですが、二部の人数は前回もお示しいただいたところですので、非常に多いのはいいのか悪いのか。割り返すと1回当たり、37人くらいです。そうすると、あの場所に37人がこの時間いっぱい来ると思えません。少し顔出ししてという表現はよくないかもしれませんが、「ちょっと寄ってみました」という人たちもカウントしているのではないかと想像出来ます。そうなったときに、それを人数として数えていいのでしょうか。

本来おそらく、1部の63人たちは2部に行かれてないような気がします。そこまで行く必要はもちろんないかもしれませんが、だからこれをどのように使おうとしているのかというのが、もともと、走り出して一緒に考えていきましょうという話でした。今このような人数が来ているという状況を踏まえて、来年度以降どのようにするのか。どのように運営をしていくのかということは大きな課題であると私は思っています。開いたからには有効活用をした方がいいわけですし、下のアンケートを見ても、先生方のご理解がまだま

だということもあります。理解だけではなくてあまり関わっていないという、ご認識のところもあるかと思います。まとめて言うと、これからだということです。これが本当に機能するためにはどのようにしていけばいいのかということを検討する必要性も大いに感じたところでございます。これは意見ですので、お聞きになるだけで結構です。

金子教育長)

教育部長。

教育部長)

本当にごもっともだと思います。

先程の部活動の方での課長の答弁の補足も含めてですが、実際に例えば、来年度、どのようなものややっていくかというときに、我々サイドだけで「こういうのがいいんじゃないか」ということを決めていくというのではなく、利用者の意見もよく聞いてみたいと思います。今度、3月16日に、地域から、来ていただく方もいらっしゃると思いますので、そこら辺のいろいろな意向というのをもきちっと把握した上で、どのようにしていくのが望ましいのかということをお我々として検討していきたいと思います。

同じく、居場所で、3番目のにしまる一むにつきましても、今年こういったことをまずやってみたところがございまして、まだ検証が十分ではないというのは、我々としても認識しておりますので、委員のご意見も十分に踏まえさせていただきまして、よく検証して、その上で今後どのように展開していくことがいいのかということも、展望も含めて、またその結果をご報告させていただきたいと思います。

金子教育長)

他にございますか。

いろいろとご意見ありがとうございました。しっかり踏まえてやりたいと思います。これだけのボリュームのある課題で、たくさんの外の方々と対応することを課長1人、係長1人でやっております。あとは若干の兼務をかけて職員がやっています。これを何とかしたいということで要望していますが、なかなか叶わないということについて、教育委員会として、是非お願いをしていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

(7) 報告事項第2号 千川中学校複合施設における開校(開設)時期の変更について
金子教育長)

それでは、次の案件に参りたいと思います。報告事項第2号、千川中学校複合施設における開校時期の変更につきまして、ご説明をお願いします。

どうぞ、学校施設担当係長。

<学校施設担当係長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

酒井委員、どうぞ。

酒井委員)

ご説明ありがとうございます。教えていただきたいのですが、工事期間の延伸は4か月程度ということで、普通に考えますと、8年度末ぐらいに終わると思いましたが、それでも、開校は1年後になるという4か月の延伸で、プラス8か月必要なのはどうしてでしょうか。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

当初の工期といたしましては、8年度の末というところで、そこは変わっていませんが、建築を取り巻く状況は非常に厳しいものがございまして、こちらにつきましては、施設整備課とも相談をしたところですよ。やはり、きちきちのスケジュールで、入札等々を考えますと、8月に間に合わせるということになると、建築、業者の方でも手を挙げてくれるだろうかというような不安もございまして。実際にその工期については精査中というところもありますが、ある程度余裕を持った形で8、9年度の夏休みのところということで、進めさせていただきたいと考えております。

酒井委員)

分かりました。

金子教育長)

宜しいですか。

酒井委員)

はい。

金子教育長)

途中段階までは、何とか8年度中に出来ないかということも検討しました。ただ学校サイドとしては夏休みに引っ越しが望ましいようですが、それだけが理由ではないようです。4月開校としたときに、また何かこの業界の問題で入れませんでしたということがいいのかどうかということが一番懸念のこととございまして、ここはやはり安全を見た方がいいだろうということです。

酒井委員)

分かりました。

金子教育長)

逆に言うと、そこまでぎりぎりということだとしても、先程ご説明にあったように、その前の予定では入れると思っていた方々が入れないということは明らかになったので、ご連絡を全員にいたしました。そこは一応キープした上で、次の方々がどこから入れるのかという問題ですから、1学期からだよりいいでしょうが、安全を見た方がいいということとでございます。

酒井委員)

分かりました。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

1点教えてください。

2024問題というのは、どのようなことですか。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

お話の中にご説明させていただきましたが、いわゆる残業してはいけないとか、土日に働いてはいけない、週休2日を確保しなさいというものがございまして、これはこのような建築現場の職人の方々だけではありません。こちらで施設整備課ともお話ししましたが、今後入札ですとか仕様書の中にそれを守りなさい。また法律も、それを破った場合は、施主側に責任がありますというようなこともございます。

今まで月曜日から土曜日まで仕事が出来たものが金曜日までしか出来ないというようなところもございますので、どうしても工期としては当然伸びてしまうということがございます。

金子教育長)

教育部長。

教育部長)

補足します。

2019年4月に働き方改革の関連法案が施行されまして、建設業界では5年の猶予がありましたので、2024年にこれが持ち上がりました。

金子教育長)

延ばされました。

運輸も宅急便もそうです。

教育部長)

上限が設定されますが、建設業界は人手不足と高齢化で働き手が少ない中でどのようにしていくかとか、現場が遠かったりすると、移動時間をどう捉えるかとかいろいろ課題があつて、ここら辺がどうなっていくかということがまだ分かりません。それで4か月プラスアルファと読みづらいという、そのような課題がございます。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

分かりました。うちの近くでも、土曜でも日曜でも音がするのは、あのようなことが厳

しくなっていくということですね。

金子教育長)

そうです。

樋口委員)

2点目です。来年度、千川中学校に入学予定の保護者の方への周知はもうなされたというご報告でしたね。もしそうであるならば、それをお聞きして、進学する学校を変えたいという家庭はあったのかどうかということと、それはどのようなものだったのかということをお教えいただければと思います。

金子教育長)

学務課長。

学務課長)

学校施設課長の代わりに少し説明させていただきます。

委員もご存じだと思います入学通知は、例年12月の18日ぐらいに送らないといけません。1週間ぐらい前だったかと思いますが、関係者に対して、教育部内部で人海戦術で電話をかけましたところ、基本的にはご理解をいただいて、いろいろな方もいらっしゃいましたが、結果的にその後の指定校変更手続で、学校が延期になるから学校を変えたいというお申出はございませんでした。この周知によっての変更というのはなかったと思います。

その前に、当然、隣接校選択制度は9月にやっていたとして、在籍期間の多くを学び舎びいすだというのは避けている方もいらっしゃるでしょうし、この情報提供した後に、部活動の関係で学び舎びいすでやりたいという方も複数おりましたので、様々な方がいらっしゃるかと受け取っております。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

丁寧な対応ありがとうございました。

3点目は、とても細かいことです。3番の2行目の学校運営協議会、千川中はまだ学校運営協議会をやっていないと思いますので、正確には、学校運営連絡協議会だと思います。

金子教育長)

大丈夫ですか。

他にございますか。

それでは、ご報告につきましては、了解をさせていただきます。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

(8) 報告事項第3号 南池袋小学校の別棟整備について

金子教育長)

続きまして、報告の第3号、南池袋小学校の別棟整備につきまして、ご報告お願いしま

す。

学校施設担当係長。

＜学校施設担当係長 資料説明＞

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

そうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

ご説明をいただきましたが、新しくこれから建てようとしている体育館は、プール、別棟を含めた学校ということなので、プールプランに関しても、プールがこの中に含まれるということで考えていらっしゃるのでしょうか。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

プールも含めたプランというところで、今検討をしているところでございます。

ただ、このプランが、今後どのようなになっていくかということは、今見えなくて、あまり、こうしますというお約束は出来ない状況ではあります。私どもとして持っているプランはありますが、経費であったり時間であったり、それが学校運営にどの程度影響するかなど、いろいろな関係があると思っております。その中で、ベストなプランを選択して、お示し出来ればいいと思っております。

金子教育長)

悩んでいる。

村瀬委員)

悩んでいる。ありがとうございます。

金子教育長)

Aも駄目だし、Bも駄目だと言われると、「じゃあCでどうだ」と言いたいですが。

村瀬委員)

本当ですね。

金子教育長)

教育部長。

教育部長)

おっしゃる通りでして、A、Bで、プールの方が今トライアルということで、一応来年度の新拡取っていますが、やった上での検討ということになっています。

金子教育長)

南池小でやるかどうかはまだ決まっていません。

教育部長)

何ていいでしょうか、意思決定は出来ていませんが、内部で決定は出来て、原案として

はその辺りを十分踏まえさせていただいた上で、プランをつくります。例えば、一般論ですと、二段階化して、そのこの部分の検討の状況を見て、その２段目を決められるとか、その辺りも含めて、検討しています。

これも内部でまだ固まっていますが、学校だけではなくて、エリア全体の、改築などの計画も見せながらこの学校のプールをどうするかということも検討が出来るかということで、政経部などとも、内輪といいますか、下話をしている面もあります。そこも含めた検討になりますので、また年度明けになってくると思いますが、十分検討させていただきます。

村瀬委員)

いいですか。

金子教育長)

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

プールのことも全部分からないということですね。Aプランだったと思いますが、プールをなくして、その近くの雑司が谷にという案が昔ありました。雑司が谷も話を聞いたら、あちこちがたがきて、あと数年でどうにかしないといけない状況になっているという、プールの人の話を聞いたことがあります。分かりませんが、学校の教室はタワーマンションが建って大変な状況になっているので、計画AとB駄目だったということですが、かなりの時間、止まっている状態なので、このまま検討を続けるのではなくて、次の段階に行かないといけないと思います。プール云々の話もそうですが、前に進めるように、早く計画が固まるといいと思います。

金子教育長)

少し説明をはしょった部分があったので丁寧に申し上げますと、あと２年ぐらいは増加の部分について、校舎棟に書いてある、オレンジのところですが、普通教室六つというのでいいですか。この確保を、かなり学校運営としては、宜しくないとは思っています。きついと思っていますが、前にも酒井委員からも言われたように、ただ、「これを変えればいい」と言うのは簡単です。しかし、実際に運営していくとなったときに、図書室もいじめられて、あれもいじめられてということになりますから、決していい状態ではないです。とにかくこの間、何もしないわけにいかないのです、これでしのぐということは出来ています。

問題は目の前の再開発ビルがこれから出来ます。住宅棟でどのぐらいの人数の方が小学校に来るかというのが読めない面もあります。でもゼロではありません。そこを一方では、都市整備部の協力も得て、どのぐらい来るでしょうか。今までの換算数字というのがありますが、それも、この間覚えていらっしゃるかどうか。高南小学校のときの別棟の中では少し裏切られました。前と同じような数字ではありませんでした。それは、やはり住宅が分譲であったり、賃貸だったりいろいろな形態があるので、それから価格帯によっても、

どういう方々が入ってくるか、どういう世帯で、どういうお子様がいらっしゃるか、公立小学校に来るお子様が結局どのぐらいいるのかということが、最終結論です。それも一方では、ディベロッパーの方にご協力をいただいて、強く聞いていただいたり。今の大きいマンション分譲は建てる前から始まるので、そのような時期からいろいろと情報を教えてもらえないかというようなことも一方でやりつつ、これでしのぎ切るのかどうかということの今瀬戸際ぐらいです。

ですから、来年困るとか、再来年困るというのではなくて、でも待っていれば間違いなくその後、困るだろうということは、先程出ていたような体育館をどうするとか、それからプール棟を建て替えるとかというのは、それだけで一、二年かかるわけですから、今これを決定出来ないと、問題は、3年後とかということに間に合わなくなるということではないのでしょうかということです。

ただ、そのときになって、いや、意外と来ませんでしたということだと嬉しいから空振りで済むわけですが、来たときにどうにもならないというのは、無責任な形になります。

ですから、ありとあらゆる、今出ている「体育館どうしよう」「プールどうしよう」そこで終わりではないので、中身についてもいろいろな部分、ここをこうしたらどうだろうということも改めて検討していますし、今取りあえず転用可能なところを普通教室化することだけでやっています。それでも、なかなか厳しいですが、何とか学習が出来なくなるということはありませんので、やりますが、プラス、他にもやり方はないだろうかということもあります。

これだけの大きな体育館を建て替えるというのは、大きいことですが、いわゆる学校改築においては考える会というものをつくって、その人たちだけで決めるわけではないですが、地元も学校も入り、関係者も入る中で合意形成をしていきますが、中心の人物たちが集まることによって、なるべくなら円滑にいくというやり方を今まで取っているわけです。どうも体育館の問題にしても、そのプールにしても合意が得られてないなというのが間違いないところです。両方の意見を私は聞いています。私の耳には賛成も反対も入っています。どちらも、利のある話です。子供のことを考えている話なのでよく分かりますが、難しいのは、今いるお子さんたちを重視すれば、なるべく変化が少ない方がいいです。体育館がなくなるなんてとんでもないということになります。プールもということになります。

次から入ってくるお子さんたちの親御さんの立場に立つと、早く何とかしてくださいということになります。「これは難しいな」と思いながら毎日考えています。

いろいろお知恵をいただければと思います。僕らも全く案がないわけではなくて、A案、B案だけではない、次のC案の1、2、3みたいなものも、もちろん今検討中です。

区によっては、人口増と、人口増ではないところがはっきりしているのであれば、増のところの学区を変えたらどうかというような意見もあります。

前に校長先生もおっしゃっていました。

一番早いです。またそれはそれで厄介ですが、場合によっては、そういう問題提起をしなければいけないかもしれません。もし教育委員の皆様が是非それを選択肢に入れた方がいいのではないかとのご意見であれば、私は代表して、それも申し上げていきたいと思っています。

もちろん、学区域自体は、たしか教育委員会で決められるのではないかと思います。
学務課長)

そうです。

金子教育長)

区にとって、非常に大きな問題であるので、首長の決断はいただかないといけないと思います。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

人口動態を読むというのは本当に難しいところです。

金子教育長)

難しいです。

樋口委員)

学齢期がどう関わってくるのか。ご苦労しのばれます。

と同時に、ここまで、学校や校長先生は大変であろうと思います。4月1日に、新学期を迎えるということが一番大事なことであって、そこでの授業の確保ということだと思います。

そうすると、来年の4月には校舎棟の一部は、もう普通教室に転化しているのでしょうか。それで間に合っていますか。

金子教育長)

どの辺まで大丈夫かという話をしてください。

学校施設担当係長)

来年の4月につきましては、もう改修工事というか、特に問題なく、普通教室等の準備は整えております。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

それで、特別教室も使えるような状況ですか。この校舎棟の中に、普通教室プラス、特別教室があって4月1日から運営出来るという状況でしょうか。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

まだ今年の4月につきましては、特別教室につきましても、今の校舎内にあるままでご

ざいますので、もしこちらの別棟を建てた場合は、年度の途中で別棟を準備いたしまして、どこかの段階でお引っ越しをして、おそらく、例えば夏休みに特別教室を引っ越して、その後の半年の間に特別教室だったところを普通教室に改修工事をするというようなイメージのスケジュールで進んでいくことになると思っております。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

つまり、来年度の人数は増えているということですね。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

来年度も人数は増えます。今手元に資料がありませんが、クラス数も1クラス増えますので、その手当はもう済んでいます。4月のご入学のときには、教室が足りないということはございません。大丈夫でございます。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

安心しました。まずそこで、学校運営が出来るかどうかというのが一番でありまして、年度の途中にいろいろあることはそれは否めないと思います。子供たちと先生方が4月1日を安心して迎えられるかどうかというところを一番気にしていたところです。

今後の話は、今言っても机上の空論になるのでやめておきますが、ご苦労だとは思いますが、どうぞ学校運営に支障がないようにご検討を今までもしていただいていると思いますので、今後も十分に連携をしていただければと存じます。

金子教育長)

ありがとうございます。

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

(9) 報告事項第4号 朋有小学校の別棟整備（新管理棟内別棟）について

金子教育長)

それでは、報告事項第4号に参ります。朋有小学校の別棟整備です。新管理棟内の別棟につきまして、ご説明をお願いします。

学校施設担当係長。

<学校施設担当係長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

来年度4月からこの仮校舎の整備が始まるということですか。

金子教育長)

学校施設担当係長。

学校施設担当係長)

契約的にいいますと、4月1日で契約をして、4月早々に設計等も準備に入ってまいります。建てる工事自体はもっと後になると思いますが、取りあえず、まず設計からということで、早い段階で受入れ工事というか、それは出来ることから早くやっていきたいと思っております。

金子教育長)

いいですか。樋口委員。

樋口委員)

ということは、6年度中のどこかの段階で工事が始まっていくようなイメージかと思いますが、ここはI S Sの学校ですね。このようなときこそ、力を発揮してほしいと思います。先程の部活のこともそうですが、コミュニティスクールになるというのは、学校の教育活動だけではなくて、教育活動以外で、大事な教育活動に関わってくる部分に地域の方がこのようなときこそ応援してほしいと思います。安全・安心はそういうことなのではないですか。ただ、けがの減少という話ではなくて、そのようなコミュニティスクールや、I S Sに是非かませていったらどうかと思います。これは意見です。

金子教育長)

ありがとうございます。

教育部長。

教育部長)

先程の部活のところでもコミュニティスクールについて、ご意見いただきましたので、十分に踏まえて、こちらも揉ませていただきます。ありがとうございます。

金子教育長)

他にございますか。

宜しいですか。

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

(10) 報告事項第5号 「未来としまミーティング」の実施報告について

金子教育長)

それでは、次の案件に参りたいと思います。最後です。報告事項第5号、「未来としまミーティング」の実施報告について、ご報告、ご説明をお願いいたします。

施策推進担当課長。

<教育施策推進担当課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

宜しいでしょうか。

順次、教育から始めましたが、区長の主催でやっていますので、企画課が事務局になって、テーマごとに今後も、環境をやったり、高齢者をやったり、福祉をやったりということがあります。それから、総合教育会議でも、おそらく、これから話が出ると思いますが、教育大綱のためにも、これとは別に、PTA連合会の小と中とは個別に懇談をします。

それ以外にも、子供たちとどのようにやろうかといういろいろ考えていますが、今出ている企画は中学校の生徒会の連合会があります。そこに正副会長が集まるということなので、そこそ1回懇談をしてみたいというようなことも出ております。

ということで、このような大きいところを使つてのミーティングというのもいろいろ教育以外の課題について、進められるというように聞いています。何故ならば、そういうことをしたいという基本姿勢ということも、もちろんありますが、1年かけて6年度中に、区の全体の基本構想、基本計画を変更するということがございまして、そのためにも教育ということだけではなくて、全部について考えたい、意見を聞きたいということで進められているということでございます。取りあえず、3回ありましたのでご報告をしたいということで触れさせていただきました。

また、他の教育関係のミーティングについてございましたら、報告をしていきたいと思ひます。

宜しいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項第5号了承)

金子教育長)

それでは、特にございませんでしたら、これで教育委員会を締めさせていただきますと思ひます。

これにて、第2回の教育委員会臨時会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(午前11時50分 閉会)